



新年明けまして おめでとうございます。

皆様、ご家族様におかれましては つつがなく新しい年をお迎えのことと、心よりお慶びを申し上げます。皆様にはNPO 法人名古屋市腎友会の活動に、ご理解、ご支援を賜り深く感謝いたしております。

さて近年、私たち透析患者にとりまく環境（医療、費用負担）が変わりつつ有り、じわじわと周りからおしよせて来ています。NPO 法人名古屋市腎友会は障害者医療費助成制度の堅持、そしてこれ以上の透析患者を増やさないために、行政とともに年1回の市民公開講座を行っています。腎臓病から、透析導入を少しでも遅らす事が出来るよう、又、行政も医療費軽減になり、医療制度や社会保障制度が、後退することのない様 活動を進めて行きたいと思えます。医療、生活の向上と社会参加への寄与を目的として

「CKD（慢性腎臓病）対策を行政とともに地域に根ざした活動」を行って行きたいと思えます。

本年も宜しく御願いたします。

平成23年1月 NPO 法人名古屋市腎友会

会長 奥村清高



■最近の活動

●第6回市民公開講座を開催

平成22年11月14日（日）中外東京海上ビル8F 中外製薬（株）会議室で午前10時より市民公開講座が行なわれました。11月14日が糖尿病デーと言う事で関心が高く143名人が参加して盛大におこなわれました。

●平成22年度名古屋市健康福祉局へ陳情

平成22年11月16日（火）10時00～11時00名古屋市市役所2F 会議室にて名古屋市議会議員久野耕平氏の立会いのもと、名古屋市健康福祉局長谷川弘之局長他9名の部長、課長、係長と名古屋市腎友会8名のメンバーによる陳情がおこなわれました。今回名古屋市内の透析患者及び支援者により、5084名の署名が集まり、奥村清高名古屋市腎友会会長から長谷川局長へ渡されました。

第6回市民公開講座及び平成22年度名古屋市健康福祉局へ陳情の詳細は、NPO 法人名古屋市腎友会ホームページを参照ください。

<http://www.nagoya-jin.org/>

1. 来るべき自己負担の波が

世間では減税がはやっているが、長く不景気の中で、即行政サービスの低下であり、
 如果说えればわれわれにとっては医療費の自己負担につながってしまう。
 今一度重度障害者制度について考えてみたい。

現在透析医療費に関して、自己負担なし、制限なしは **6 県** だけである

愛知（名古屋市所得制限あり）、埼玉、鹿児島、群馬、愛媛、福島

あとの県は障害者医療費助成がなくなったところは、**自立支援医療**のおかげで
月 1500 円、1000 円、2120 円とか、**1 診療科ごと 500 円**払っているところ
 がありますが、**自立支援医療もなくなったところは、透析患者は特定疾病
 療養受領証という高額療養費**でなんとか、**上限 1 万円、または 2 万円**で済ん
 でいます。

本来ならば月平均 40 万円かかるので、保険の 3 割負担でも 12 万円払わなければ
 ならない計算になっています。今のところ法律で守られているものの、他の障害者の
 医療費は 1 割負担なので、いつ法律が変わって 1 割負担になるかもしれません。

当面は障害者医療費助成がなくなり、**月 500 円**とかいきなり他の県と同じ、**月 1
 万円、2 万円**という時代がくるかもしれませんので、しっかりと行政との交渉
 が必要です。そのために、腎友会の活動が必要であり、患者の啓蒙活動をしっかりし
 ていきたいと思えます。

■自己負担なしまでのシステム

(第 1 段階) 医療保険高額療養費制度で 1 ヶ月 上限 1 万円 または 2 万円。

透析患者は特定疾病療養受領証という高額療養費あつかいになっている。

(第 2 段階) 自立支援医療費

高額療養費の 1 万円、2 万円が 2500 円、5000 円、1 万円または 2 万円に軽減される。

(第 3 段階) 障害者医療費助成制度

自立支援医療の負担分 2500 円、5000 円、1 万円、2 万円所得制限なしで全額給付
 され医療費の自己負担は無しとなる。（名古屋市は所得制限あり）

これらの制度を利用すると、

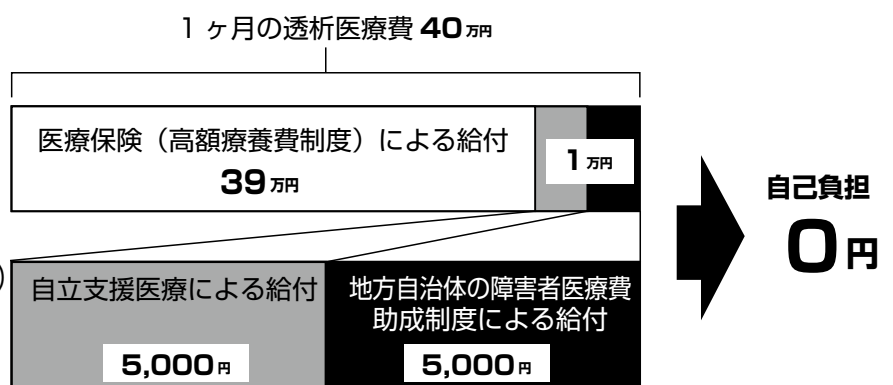
例) 65 歳未満、市町村民税額

(所得割) 3 万 3 千円未満の

課税世帯の透析患者 A さん

(自立支援医療自己負担限度額 5,000 円)

の場合。



平成 22 年度 NPO 法人名古屋市腎友会活動報告

- 3月6日 世界腎臓デー街頭キャンペーン IN 名古屋に参加
- 4月 名古屋市健康福祉局障害福祉部障害部長佐藤良喜氏に挨拶
- 4月11日 碧南市腎友会設立総会に参加
- 5月 安城市腎友会総会に参加
- 平成 22 年度第 8 回総会 5月9日 中外東京海上ビル 8F 中外製薬(株) 会議室
- 5月11日 加藤武夫公明党団長、諸隈修身民主党団長、岡本善博自民党団長と懇談
- 5月18日 鷺野恵子日本共産党団長と懇談
- 5月20日 塚本久民主党県議団団長と懇談
- 5月21日 渡会克明公明党県議団団長と懇談
- 6月3日 日本共産党名古屋市議団、鷺野恵子団長、江上博之幹事長と懇談
- 6月6日 くわな共立クリニック開所式参加
- 6月7日 民主党愛知県連地域企画委員会と名古屋市腎友会との懇談会 国会議員 2 名、愛知県議団 9 名出席
- 6月11日 自民党県議団久保田浩文団長、大竹正人政調会長と懇談
- 6月11日 久保田浩文自民党県議団団長と懇談
- 6月17日 公明党愛知県議団懇談会 7 名県議出席
- 6月17日 名古屋市議団・4 党合同懇談会 16 名議員出席
- 8月8日 尾張第 4 腎友会設立総会参加 5月～8月設立の為に支援
- 陳情署名活動(8月～9月上旬)
- 9月5日 瀬戸共立クリニック患者交流会に参加
- 10月21日 稲沢市議団懇談会(8市議)
- 第 6 回市民公開講座 平成 22 年 11 月 14 日 中外東京海上ビル 8F 中外製薬(株) 会議室
- 11月16日 名古屋市障害福祉局へ陳情 長谷川弘之局長と懇談
- 腎友会だより 10 号(7月30日発行)、11 号(平成 23 年 1 月発行予定)
- トピックス 3 号(4月発行)、4 号(7月発行)、5 号(平成 23 年 1 月発行) 6 号(平成 23 年 1 月発行)
- 各区で開催されている障害者自立支援協議会に参加
- 毎月 1 回役員会開催
- 三役会議

平成 23 年度 NPO 法人名古屋市腎友会活動予定

- 5月8日 第 9 回総会
- 6月 各政党との議員懇談会
- 8月～9月 陳情署名活動
- 11月 第 7 回市民公開講座
- 11月 名古屋市健康福祉局へ陳情

NPO 法人名古屋市腎友会のホームページをにぜひアクセスしてください。

<http://www.nagoya-jin.org/>

● 情報提供のお願い・女性部会員募集 ●

● ただいま、活動のために女性部の会員を募集しています。

NPO 法人名古屋市腎友会 事務局長 高橋 元治

名古屋市熱田区二番 2-18-24 今津ビル 201 号 TEL 052-653-6480 FAX 052-653-3271

メールアドレス: info@nagoya-jin.org